

## もう一度かたぐるまして おとうさん

ぼくのおとうさん、ダンプカーにひかれてしまいました。

がっこうでおともだちが、おとうさんのはなしをしたり、あそんだことをいっています。「きみのおとうさん、どんなおしごとしてるの」というとなみだがでそうになるので、だまってしまう。

おかあさんは、「男の子はめめそしてはいけない」といいます。ぼくはおとうさんがいなくてもつよい子になろうとおもいます。

でも、一どでいいから、おとうさんにかたぐるましてもらいたい。手をつないであるきたい。ぼくだって、大きなこえで「おとうさん」とよんでみたい。

でも、もうみんなできない。だってぼくのおとうさん、しんだのだから。

交通事故遺児作文集「天国にいるお父さま」第2集(「交通事故遺児を励ます会」昭和45年2月25日刊行)から抜粋

こうした遺児を出さないためにも、  
もう一度自分を振り返ってみませんか。

## 「4時からライト、 乗ったらベルト」

この時期、日の暮れるのが早くなります。秋から冬は午後4時には車のライトをつけましょう。

市では、17日(火)から20日(金)までの4日間、「4時からライト&乗ったらベルト」運動を展開します。大切な命を守るために、車に乗ったら、シートベルトを締めましょう。また、後部座席でもシートベルトを、6歳未満の子供には、チャイルドシートを使いましょう。



平成17年度交通安全作品コンクール佳作  
大仙市立西仙北東中学校1年 菅原一恵さん

## 飲酒運転を徹底追放しよう!

### 『もっきりで ハンドル握る かまどけし』

平成18年度高齢者の交通安全『あきた弁川柳』応募作品

- ◇「飲酒運転は絶対しない、させない」運動を進めましょう。
- ◇家庭、職場、地域で飲酒運転禁止を徹底させましょう。

#### 自分の身体を知ってください

- ①物が見えにくいことはありませんか？  
視力は30歳くらいから徐々に低下します。特に夕方や夜間は見えにくくなるため、危険の発見が遅れがちになります。
- ②音が聞こえにくいことはありますか？  
年をとると、聴力が低下し、特に高い音が聞き取りにくくなります。車のクラクションやバックする音などに気付かないことがあります。
- ③体のバランスを崩すことはありませんか？  
体のバランスを保つ機能が十分でなくなると、歩行中につまずいたり、自転車に乗ってふらついたりします。
- ④歩く速度が遅くなっていますか？  
足が弱くなると、道路の横断に時間がかかったり、とつさに危険を避けることができにくくなったりします。

#### 「見える歩行者」になろう

夕方や夜の時間帯には、ドライバーからは、昼間とは比べ物にならないほど歩行者や自転車は見えにくくなります。歩いていて、車がすごいスピードですれ違ったことはありませんか？ そのときドライバーからは、あなたが見えていなかったのかもしれない。夜間の交通事故を防ぐためには、ドライバーから見やすい服装を意識することが大切です。

#### 事故に遭わない、 事故を起こさないために

- ・歩くとき、自転車に乗るとき
  - ・明るく目立つ服装をし、反射材を付けましょう。
  - ・道路を渡るときは、左右を確かめましょう。
  - ・自転車で夜間走行するときはライトを必ずつけ、夜間歩くときには懐中電灯で足元を照らしましょう。
- 運転するとき
- ・暗くなる前にライトをつけましょう。
  - ・シートベルトを必ず締めましょう。
  - ・体の調子が悪いときは、運転を避けましょう。
- もしかしたら、私たちも事故を起こしてしまったり、被害に遭ったりするかもしれないかもしれません。しかし、事故を防ぐことができるのは私たちです。地域ぐるみで、交通事故ゼロを目指しましょう!